

各位

会社名 株式会社JVCケンウッド
 代表者名 代表取締役会長 兼 CEO 河原 春郎
 (コード番号6632 東証第一部)
 問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長
 西下 進一郎
 (TEL 045-444-5232)

繰延税金資産および特別損失の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、繰延税金資産および特別損失の計上、ならびに、平成27年10月30日に公表しました平成28年3月期の業績予想につきましても修正することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社は、平成26年10月に米国子会社2社を統合して発足した当社の100%連結子会社であるJVCKENWOOD USA Corporation(以下、「JKUSA」)において、米国税法に基づく繰延税金資産の計上額を、JKUSAの直近の業績および今後の収益見通しを踏まえて見直した結果、平成28年3月期第4四半期連結決算において繰延税金資産を計上し、これにともない法人税等調整額として約△23億円(△は利益)を計上いたします。

2. 特別損失の計上について

当社では、このたび前橋事業所の不動産の一部についての売却の申し入れを受け、それにとまって用途変更の必要が生じたことから、不動産の減損処理による約10億円の特別損失を計上いたします。

3. 通期連結業績予想の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位:百万円)	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A) (平成27年10月30日発表)	295,000	4,500	1,000	1,500	円 銭 10 82
今回修正予想(B)	292,000	4,200	1,000	3,200	円 銭 23 06
増減額(B-A)	△3,000	△300	0	1,700	
増減率(%)	△1.0	△6.7	0.0	113.3	
(参考)前期実績	285,010	6,570	3,176	4,654	円 銭 33 56

4. 修正の理由

上記のとおり、米国子会社における繰延税金資産の計上にもなう法人税等調整額と、前橋事業所の用途変更による減損処理で特別損失などを計上することにより、親会社株主に帰属する当期純利益が予想を上回る見込みとなりましたので、平成 27 年 10 月 30 日に公表しました平成 28 年 3 月期通期連結業績予想を修正することといたしました。

(注)本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上